



# インフルエンザ 全国、富山県で報告数増加中！

令和6年2月14日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和6年第6週分・2月5日～2月11日)

### 《インフォメーション》

#### ●インフルエンザ

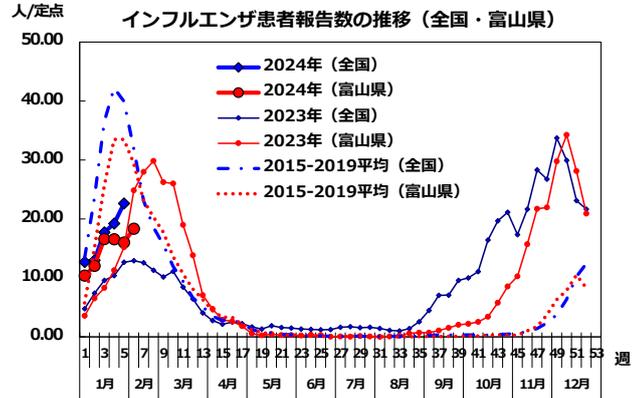
新型コロナウイルス感染症が流行する以前には、インフルエンザは毎シーズン、12月頃から翌年3月頃に流行していました。しかし、全国および富山県において、2020/21シーズンから2021/22シーズンにかけてインフルエンザの定点当たりの患者報告数は0.04人以下で推移し、大きな流行は起こりませんでした。

全国の2023/24シーズンの患者報告数は2023年第52週頃までは減少傾向でしたが、2024年に入ってから増加傾向に転じています(図参照)。

富山県の今週(2024年第6週)の患者報告数は18.35人/定点であり、先週の報告数(16人/定点)から増加しました。全国の傾向と同様、患者報告数は2023年第52週頃までは減少傾向でしたが、2024年に入ってから増加傾向に転じています。直近の報告数は今シーズンのピーク時の報告数を下回っているものの、注意報レベルの目安である10人/定点を超える患者数が継続して報告されています。また、定点医療機関当たりのインフルエンザB型の患者報告数およびB型の割合が増加しています(先週151人;19.7%、今週356人;40.4%)。今後の感染状況に注意する必要があります。

今シーズンにインフルエンザにより学級閉鎖等の措置をとった施設数は、2月13日時点で369施設(保育所・幼稚園5、小学校245、中学校76、高等学校38、その他5)となっています。

インフルエンザの主な感染経路は飛沫、接触感染です。予防法として、ワクチン接種、手指衛生、マスクの着用、咳エチケットなどが有効です。発熱や咳等の症状がある場合は無理をせず登園や出勤を控えるようにしましょう。



### 《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1件(50歳代、男性)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件(①50歳代 ②70歳代 ①②共に男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件(80歳代、男性)
- 急性脳炎 1件(10歳未満、男性)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(70歳代、男性、A群)
- 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む) 1件(30歳代、男性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	インフルエンザ	18.35(↑)	16.00
2位	COVID-19	14.44(↓)	16.10
3位	感染性胃腸炎	8.76(↑)	7.79
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7.17(↓)	7.24
5位	咽頭結膜熱	3.00(↓)	3.45
6位	流行性角結膜炎	0.29(↑)	0.14



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第6週 令和6年2月5日～令和6年2月11日）

分類	疾患	今週報告分（第6週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核						1	1	3	1	6	11	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1			1	
	四類感染症	レジオネラ症								1		4	5	
	五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症					1	1			1		1	2
		急性脳炎					1	1			1		1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1			2	1	2	5
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）				1		1				1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	2
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
		侵襲性肺炎球菌感染症									1		1	2
梅毒									1		1	2		
定点把握（48定点）	インフルエンザ／COVID-19	98	125	297	48	313	881	502	523	1,196	420	1,676	4,317	
		14.00	25.00	22.85	6.86	19.56	18.35							
		85	50	242	80	236	693	420	365	1,207	463	1,076	3,531	
		12.14	10.00	18.62	11.43	14.75	14.44							
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1		2		2	5	4	1	4		10	19	
		0.25		0.25		0.20	0.17							
	咽頭結膜熱	5	5	39	1	37	87	23	37	177	8	241	486	
		1.25	1.67	4.88	0.25	3.70	3.00							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	8	96	15	81	208	36	62	588	82	347	1,115	
		2.00	2.67	12.00	3.75	8.10	7.17							
	感染性胃腸炎	23	21	31	49	130	254	118	103	183	157	523	1,084	
		5.75	7.00	3.88	12.25	13.00	8.76							
	水痘	1	3	1		1	6	1	4	11	5	22	43	
		0.25	1.00	0.13		0.10	0.21							
手足口病			1		3	4	3	1	17		6	27		
			0.13		0.30	0.14								
突発性発しん		1	4		1	6	2	4	13	4	5	28		
		0.33	0.50		0.10	0.21								
ヘルパンギーナ	2					2	21				1	1	23	
	0.50					0.07								
流行性耳下腺炎										1	1	2		
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎			2			2	4		5		5	14	
				1.00			0.29							
基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎				1		1				1		1	
					1.00		0.20							
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）			1	1		2	19	9	22	39	55	144	
		3	5	4	2	10	24	23	42	25	30	72	192	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週(9月4日)～の集計です。

## インフルエンザ定点における患者診断状況

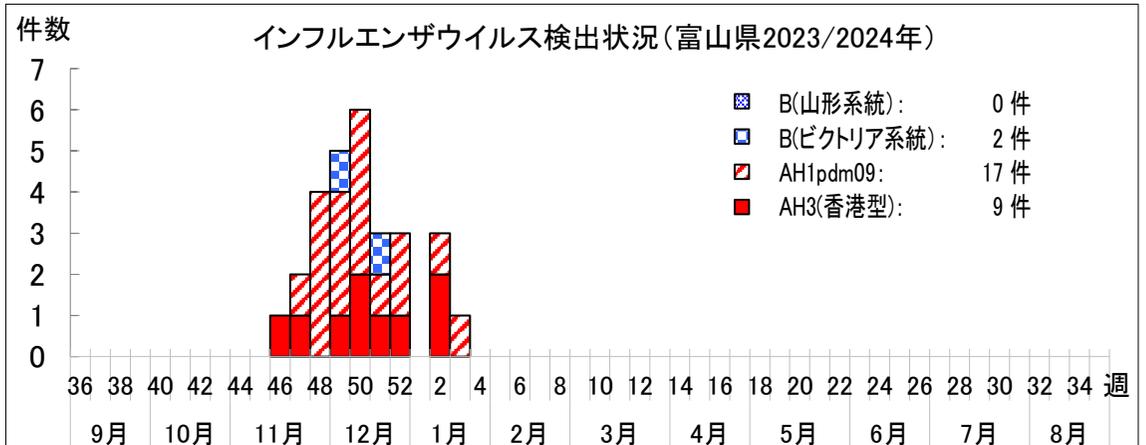
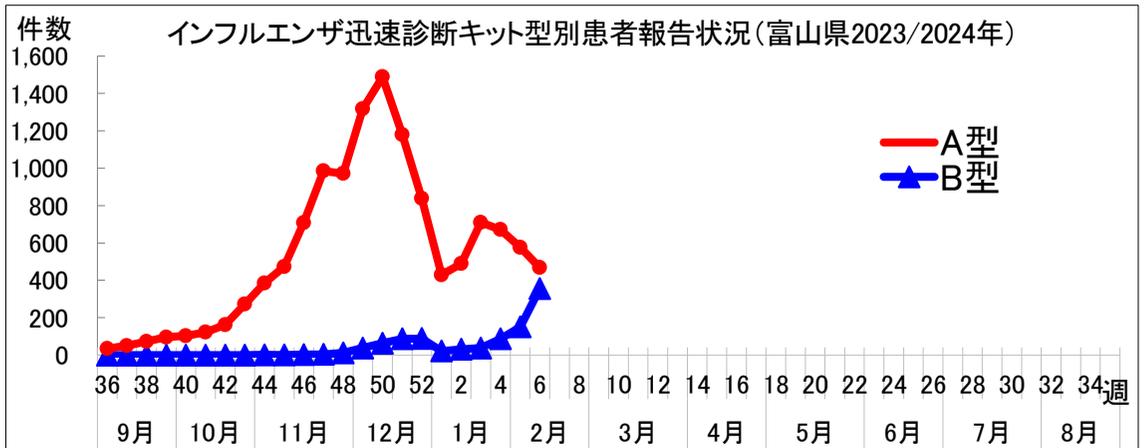
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が53.1%、B型が40.4%となっています。

### 第6週(2/5~2/11)：富山県 18.35人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	63	29	6	98
中部	5 / 5	38	83	4	125
高岡	11 / 13	191	80	26	297
砺波	7 / 7	39	9	0	48
富山市	15 / 16	137	155	21	313
富山県	43 / 48 <sup>※1</sup>	468	356	57	881
富山県累計(2023年36週~)		12,602	985	839	14,426

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が43か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





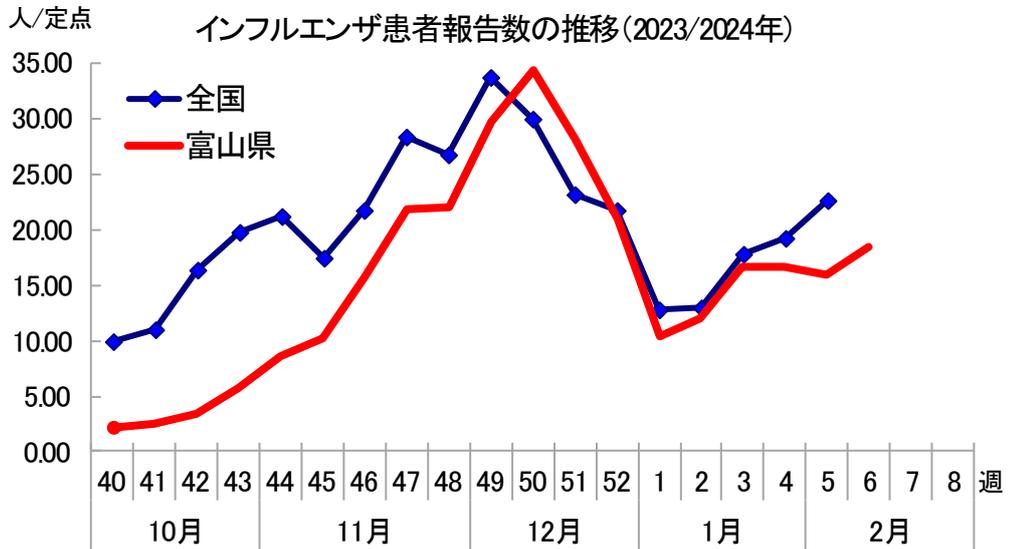
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第6週 (2/5~2/11) : 富山県 18.35 人/定点

新川 HC (14.00)、中部 HC (25.00)、高岡 HC (22.85)、砺波 HC (6.86)、富山市 HC (19.56)

全国の患者報告数は、第5週に 22.62 人/定点となり、第4週と比較して増加しました。

県内の患者報告数は、今週 18.35 人/定点となり、全国と同様に増加しました。



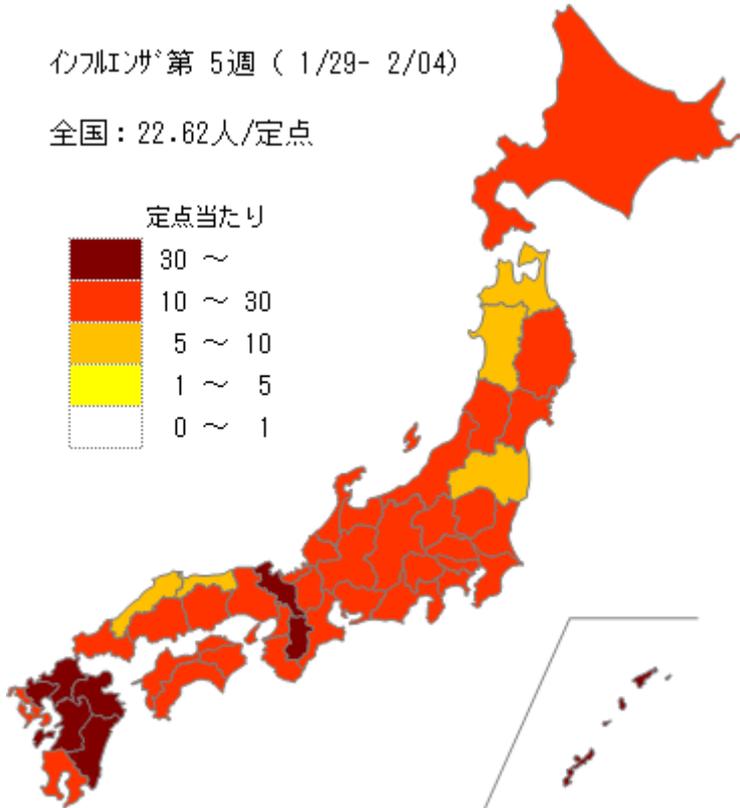
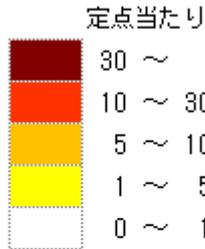
● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第5週 (1/29~2/4)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 22.62 人となり、前週の 19.22 人より増加しました。

34 都道府県で前週より増加しています。

インフルエンザ第5週 (1/29- 2/04)

全国：22.62人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	11.47 ↑	滋賀県	18.28 ↑
青森県	7.20 ↑	京都府	31.00 ↑
岩手県	12.57 ↓	大阪府	29.64 ↑
宮城県	24.30 ↑	兵庫県	25.99 ↑
秋田県	7.49 ↓	奈良県	31.44 ↑
山形県	13.19 ↓	和歌山県	19.90 ↑
福島県	7.77 ↓	鳥取県	9.14 ↓
茨城県	14.21 ↓	島根県	10.00 ↑
栃木県	13.11 ↓	岡山県	18.17 ↑
群馬県	14.15 ↓	広島県	16.40 ↑
埼玉県	24.36 ↑	山口県	19.73 ↑
千葉県	26.74 ↑	徳島県	16.49 ↓
東京都	20.29 ↑	香川県	13.28 ↑
神奈川県	25.16 ↑	愛媛県	18.75 ↑
新潟県	15.70 ↓	高知県	18.32 ↑
富山県	16.00 ↓	福岡県	57.36 ↑
石川県	15.07 ↑	佐賀県	40.31 ↑
福井県	16.92 ↑	長崎県	26.69 ↑
山梨県	10.59 ↓	熊本県	31.33 ↑
長野県	12.13 ↑	大分県	32.34 ↑
岐阜県	10.57 ↓	宮崎県	39.14 ↑
静岡県	14.45 ↑	鹿児島県	22.02 ↑
愛知県	27.53 ↑	沖縄県	41.00 ↑
三重県	20.76 ↑	<b>全国</b>	<b>22.62 ↑</b>

○感染症発生動向調査報告状況（令和6年1月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		1月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			2		7	9			2		7	9
				0.67		1.75	0.90						
	性器ヘルペスウイルス感染症					5	5					5	5
						1.25	0.50						
	尖圭コンジローマ					1	1					1	1
						0.25	0.10						
	淋菌感染症					2	2					2	2
						0.50	0.20						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	1	4	1	8	16	2	1	4	1	8	16
		2.00	1.00	4.00	1.00	8.00	3.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症					1	1					1	1
						1.00	0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。